

平成 26 年度第 3 回 CCC 体育学グループ運営委員会 議事概要

I. 日時：平成 26 年 10 月 31 日(金) 16：00～18：00

II. 場所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室

III. 出席者：大橋委員，來田委員（ネット参加），田附委員

井端事務局長，野本係長

欠席者：内山委員

IV. 資料

1. 本日の議事

2. 委員名簿

3. 資料① 到達目標 4 に関する 8 月 2 日修正資料

4. 資料② 到達目標 4 と本日検討事項に関する各委員の案

5. 資料③ 到達目標 4 と項目別各委員案（前回の意見をアンダーラインで記載）

6. 資料④ 到達目標 4 に関する來田委員試案のまとめ（web 上資料に関する來田委員の指摘を含む）

7. 第 1 回委員会，第 2 回委員会議事概要

V. 議事内容

1. 到達目標 4. 「身体文化としてのスポーツが持つ社会的機能について理解し，多文化・多様性を尊重する社会の発展に貢献できる」の一部を実現するための教育改善モデルの検討について

1) 前回議論した到達目標 4 の教育改善モデル 1. から 2. 3 の確認と修正

(1) 事務局長から「1. 到達度として学生が身につける能力」①の文言「自己実現」は哲学的で学生が身につける能力の到達度として大きすぎるのではないかと意見が出されたが，議論は進まず，次回に確認が必要である（資料③）.

(2) 当協会 Web 上の 8 月 2 日議事概要「2. 改善モデルの授業デザイン 2.1 授業のねらい」の記載を資料②に修正する.

(3) 「2.1 授業のねらい」の文言「人種・言語・宗教・文化」をグローバル化に伴い，「国内外の人種・言語・宗教・文化」とする.

(4) 「2.3 授業に ICT を活用したシナリオ」①の文言「スポーツを通じた国際協力、異文化理解の現状について情報収集・整理させる。」を国内の支援にも鑑み、「スポーツを通じた国内支援、国際協力、異文化理解の現状について情報収集・整理させる。」とする。

2) 2.4 授業に ICT を活用した学習内容・方法について（資料③）

(1) 資料②「到達目標の一部を実現するための教育改善モデル」に対応し、以下のようにまとめた。

- ①スポーツの社会的機能を応用した実践活動について、国内の支援、国内外の被災地復興支援、国際支援の段階別に情報収集を行わせる。（国連、UNESCO、青年海外協力隊、IOC、ICSSPE など）また、社会的格差・不平等の現状やマイノリティに関する調査報告、社会統計など非スポーツ関連領域の現状を把握するための情報収集を行わせる。（一般社団法人社会的包摂サポートセンターなど）
- ②各種団体の成果報告書などを踏まえて、スポーツの社会的価値の重要性・可能性についてグループディスカッションさせ、身近な地域で体现できるフィールドワークの企画書を作成させる。
- ③作成した企画書について学修支援システムを用いて他のグループと相互評価を行い、企画案を改善し、取りまとめさせる。
- ④フィールドワークが可能であれば企画案を実践させ、実施モデル（企画書・実践記録・課題および改善案）をネット上に公開し、学内外の専門家の意見を参考に相互評価を深めさせる。

2. 今後の研究の進め方

「2.5」以降は次回に検討することになった。

3. その他

次回の運営委員会は、平成 27 年 1 月 10 日（土）、あるいは同 17 日（土）のいずれかで調整することになった。

その後に平成 27 年 1 月 10 日（土）に決定